もったいない工作 ～廃品、不用品を使った工作～

概　要	
時　期	通年
時　間	90分～120分程度
場　所	室内
対　象	幼・保：○　小学生：◎　中学生：　大人：
指導員派遣人数	10～20人あたり１人程度を派遣
教科との関連	小２　生活科、小４　社会、小５　家庭科

色々な工作

自分のアイディアを形に

内　容	
ねらい	・ごみとして捨てるものやリサイクルできる資源ごみを使い、新しいものを作り出す工作を通して、楽しみながらリサイクルやごみについて学んだり考えたりするきっかけとする。
実施内容	・身近なごみ問題についての話をする。 ・使い終わった食品の容器、雑紙、割りばし、ペットボトル、牛乳パックなどを使い工作をする。
準備するもの	主催者　材料、工作に使用する道具（はさみ、のり、セロテープ、ペンなど） 参加者　材料 指導員　※材料の用意は要相談
備　考	・具体的な工作の内容は、事前の指導員との打合せで決定します。 ・参加者の学年や人数によって、指導員がおすすめの工作を紹介します。材料が用意できない場合は、指導員が用意することもできます。 ・子ども達が工作をする際には、主催者の大人の方がサポートをしてください。

プログラムの流れ	
導　入	・身近なごみ問題や静岡市のごみの現状、分別方法について話をする。
展　開	・指導員が作り方を指導し、子ども達が作る。
共　有	・作ったものを見せ合ったり遊んだりする。
まとめ・振り返り	・不用品から価値あるものを生み出したことを感じてもらう。 ・使わなくなった時の捨て方（分別方法など）を教える。

発　展	・他の工作例や、工作に使える材料を紹介する。
参考図書	・ハンドブック「『もったいない』はごみを減らす合言葉！」（静岡市環境創造課作成）